

移住のカタチ

きちゃった！♥南伊勢



このコーナーは移住定住コーディネーターが南伊勢町へ移住された方（I・Uターン）や移住者を受け入れる側を取材していくコーナーです。

今回はIターン者を紹介する「きちゃった南伊勢」です。



移住定住コーディネーター
西川百合

今月は斎田の佐藤 公二さんを紹介します。佐藤さんは福岡県から移住され、南伊勢町地域おこし協力隊として昨年11月五ヶ所浦にオープンした「伊勢志摩まぐろ食堂」で活躍中です。



伊勢志摩まぐろ食堂の前で

西川：こんにちは。今日はよろしくお願いします。

佐藤さん：ちょうどお昼の営業が終わって休憩中です。

よろしくお願いします。

西川：佐藤さんは昨年4月に南伊勢町に来られ、私も度々お話をしますが、みなみいせ商会、伊勢志摩まぐろ食堂、斎田では地域の方にパソコンや携帯電話の使い方も教えるなど、多彩な方だなあと感じています。元々はどんなお仕事をされていたのですか？

佐藤さん：飲食店の企画開発、出版、輸入関係…様々な事業を経営してきました。直近はNTT様とのコンサル契約で店舗営業業務統括や、通信系商材の独自販促プログラム開発の傍ら、自身の書籍も著述させていただきました。集落の人には携帯の使い方を教えるけど、

逆に猪の獲り方を教えてもらいます（笑）。ずっと都会暮らしだったので、今までとは全く違うコミュニケーションを楽しんでいますよ。

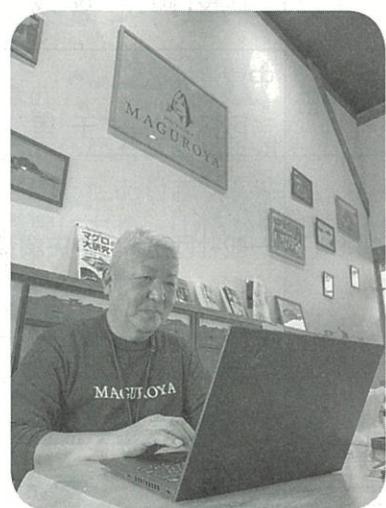
西川：なるほど。伊勢志摩まぐろ食堂にも佐藤さんのこれまでの経験や“外からの目線”が活かされているのでしょうか。お店のお話も聞かせてください。

佐藤さん：はい。お店は本まぐろや真鯛を使った丼物メニューを中心で、今は8割くらいが町外のお客様にお越しいただいています。本まぐろを使ってるので、お値段は少し高くなりますが、実は一番人気なのがお値段の高いメニューなんですよ。もちろん普段使いで食べてもらえる平日限定のお得な定食もあります。今はお昼だけですが、夜の営業も予定していますので地元の方にもぜひ来ていただきたいですね。

西川：夜の営業も開始するとお客様の層も変わって、お店もどんどん進化していきそうですね。

佐藤さん：将来的にはお店をブランド化して、全国展開を視野に入っています。地域商社として町の食材等をPRして販売を広げていくことや雇用を生むことも出来るのではないかと。また地域に還元できるようなこともしていきます。昨年末のマグロの解体ショーでは地元の子供たちもたくさん来てくれました。格安で切り身を提供したり、ふるまいをしたり地域の方にも喜んでいただけたのかなと感じています。

西川：地元にも愛されるお店に。今後の展開を楽しみしています！今日はどうもありがとうございました。



お仕事中の佐藤さん

問い合わせ先 まちづくり推進課 若者定住係 ☎0599-66-1366